

宮川右岸堤防改修景観検討委員会意見交換会 議事要旨

日 時：平成27年 3月 2日（月）15:30～16:30

場 所：伊勢市役所 本庁舎 4-5会議室

※ 赤字：追加された情報

1. 開 会

2. 挨 拶（中部地方整備局三重河川国道事務所副所長）

本日は、委員会規約第5条より、規定人数に達していないため、事業報告、施工現場に対する助言をいただく場（意見交換会）とすることについて説明し、了承された。

3. 議 題

(1) 第3回 宮川右岸堤防改修景観検討委員会の議事要旨の確認について

第3回 宮川右岸堤防改修景観検討委員会の議事要旨について説明し、了承された。

(2) 宮川右岸堤防（桜堤）の改修事業について

宮川右岸堤防（桜堤）の改修事業について説明を行い、意見を頂いた。主な意見及び質疑応答は、以下の通り。

- ・ 境楠は、現在の保存方法では倒れる可能性があるため、今後の対策が必要になってきている。また、境楠は伊勢市の天然記念物に指定されているが、現在は指定当時と違う形になっている。当時の写真等があれば、解説版を設置する等の工夫をして、住民に周知する方法を考える必要がある。
- 境楠の保存方法について、委員会を設置して検討させていただききたい。（伊勢市）
- 伊勢市教育委員会に確認したところ、市内部の委員会等で天然記念物の指定の変更も含めて検討していたところですが、現在は、境楠を史跡として指定するために文化財の種別の変更をしようとしているところ。
- サイン計画について、今後、国と伊勢市が協議を行い、検討させていただきたい。
- 伊勢市が度会橋東詰広場の整備を計画しており、広場に設置する案内板等を検討する際、関係機関（国・県・市等）で議論し当地区のサイン計画を作る予定です。
- ・ 境楠上流の堤防には、堤脚水路が未整備の箇所がある。降雨時に浸水が発生しないように早急に整備していただきたい。
- 堤脚水路については現地調査を行い、対応を考えている。
- H27年度工事にて未整備箇所約90mを整備しました。
- ・ 宮川橋付近は、ドンデン場と同じような河川への階段を考えているか。
- ドンデン場とは異なり川表側へ坂路を計画している。
- ・ 低水護岸工事箇所は、水深が深く子供が落ちた時に上がれないのではないかと。
- 現場は工事中で水深が大きくなっていたが、現地は生物の良好な生息環境となっている可能性もあるので、漁協と相談しながら対応を考えていきたい。
- 工事实施前に現地で工事影響検討調査を行い（貴重種等の生物の存在は未確認）、漁協

と相談しながら危険な施設とならないよう河道を整備しました。

- ・ 低水路工事個所の捨石は、完成と考えてよいのか。現状では石の隙間が大きいので、足が引っ掛る恐れがある。
- 完成時には問題ない状態となる。しかし、出水で捨石の流出も想定されるので、大きな出水後には施設の点検を行い、維持管理を行う予定です。
- ・ かつてあった貯木場跡がわかるような看板等について検討して欲しい。

(3) 宮川右岸堤防（桜堤）の工事施工について

宮川右岸堤防（桜堤）の工事施工について説明を行い、意見を頂いた。主な意見及び質疑応答は、以下の通り。

- ・ メダケは、堤防側にあまり広がっていないように見える。
- 高水敷は、早い段階で除草管理を行っているので、広がっていない可能性がある。
- 現在、管内ではメダケの管理手法について検討しているので、うまくいけば同じ手法が使えるのではないかと考えている。
- ・ 昨年度まで議論していた景観の保全と堤防の改修の両方が、うまく共存できるように整備されていると現地で確認できて、とても良かったと思う。
- ・ 植樹等で地元の方の協力があり、今後も引き続き地元の方と協議し、改修を進めて頂きたい。
- ・ サインや改修事業の文化的なものへの配慮等を市民に知らせることが必要と思う。
- ・ 自転車との共存等の対応策について、今後の委員会で紹介して頂きたい。
- ・ 堤防が広がるので、市民参加のイベントも開催できるのではないかな？

(4) 今後の予定

今後の予定について説明を行った。

堤防改修工事の実施にあたり、年に1回程度フォローアップ委員会を開催する。

4. 閉 会